

平成 29 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒の意欲を高める教育課程や授業改善に取り組む。 ② 外部との連携を図りながら、授業改善を行う。 ③ 学校行事や生徒会活動を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① アクティブラーニング等授業展開の工夫により生徒がより主体的に取り組む授業の実現を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去二回のアンケート結果を生かすことができるよう教育課程の検討をおこなう。 ・ 授業評価や授業見学を計画的に実施し、その結果や内容を教科内及び学校全体で共有する機会を設け、授業改善につなげていく。 ・ 授業改善につながる評価方法の検討を継続して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果を受けて教育課程の見直しをおこなったか。 ・ 授業評価や授業見学を計画的に実施し、その結果を共有することで、改善点を認識し改善につなげられたか。また、その成果が生徒による授業評価に現れたか。 ・ 評価方法の検討により授業改善できたか。
2 生徒指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> ① 支援教育について全職員が共通理解をもち、支援が必要な生徒に対して適切で組織的な支援をおこなう。 ② 生徒会活動、部活動、ボランティア活動などを通して、豊かな人間性、望ましい社会性、規範意識を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ① サポート会議を中心とする生徒情報の共有化により迅速な対応を行う。 ② 教科外活動を通じ生徒の自己肯定感を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ① サポート会議の体制や運営を整備し、職員組織で連携し、綿密に対応できるようにする。 ② 生徒会役員や各行事の実行委員の活動を活発化させることで、生徒主体の行事運営を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① サポート会議等の取組が、支援を必要とする生徒に活用され、問題解決につながったか。 ② 行事後の生徒のアンケートでの満足度が70%を上回ったか。

3	進路指導・支援	キャリア教育を推進し、生徒の自己実現のため個性と希望に即した進路実現を支援する。	総合的な学習の時間等を効果的、計画的に実施することによりキャリア教育を推進し、生徒の主体的な進路選択を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・大学体験プログラムやインターンシップ、分野別の説明会を計画的に実施する。 ・放課後等を利用し、大学一般受験、公務員試験、面接などの指導をする。 ・保護者や教員対象の研修会などを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な時期に各企画が実施できたか。 ・各企画が進路選択の参考になったか。 ・実力診断テストや校内各種模擬試験を有効に活用できたか。
4	地域等との協働	家庭や地域と連携して教育活動を展開し、開かれた学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自己肯定感の向上につながる地域交流の取組みを推進する。 ・コミュニティスクールを視野に開かれた学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭の保育園児参加プログラム等地域交流の取組みを深化させる。 ・コミュニティスクールを視野に学校評議員の構成員を見直す 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校に対する地域の理解度が深まったか。 ・学校評議員会が活性化できたか。
5	学校管理 学校運営	<ol style="list-style-type: none"> ① すべての職員が教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む学校文化を形成する。 ② 安全・安心な環境を継続する。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 適切な情報収集、情報提供により全職員で教育課題に取り組む体制を強化する。 ② 安全・安心な環境維持のため施設設備の充実を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 業務の効率化を進め、職員が情報交換や情報共有をする機会を効果的に設定する。 ② P T Aと協力し学習環境の整備につとめる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 職員が情報交換や情報共有する機会が効果的に設定できたか。 ② P T Aと協力して、学校の環境整備ができたか。